

令和3年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	安芸高田市立愛郷小学校	校長	田中 進一	生徒指導主事	佐々木 祐司
-----	-------------	----	-------	--------	--------

取組事例名 『トイレスリッパそろえ大作戦』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成	社会参画	自己実現
「コミュニケーション能力」 3	「課題発見・解決力」 1	「自己肯定感」 2

取組のねらい

○児童の主体的な活動の場としての児童会活動（委員会活動）を通して、学校の課題に自ら気付き、課題を解決していくための方法や手段を考え、課題解決していく活動を通して、実践意欲を育成する。

取組の具体的内容 取組の創意工夫 『キーワード 課題と取組の視覚化』

○愛郷小学校の課題の一つであるトイレのスリッパが揃っていないことに気付かせ、児童会環境委員会を中心に取組の計画を立てる。

- 期間 11月16日（火）～12月3日（金）
 - 重点期間とし、12月6日以降は、日常的な活動に移行していく。
- 方法
 - コンビニや大型ショッピングセンターにおけるトイレのチェック方法を参考に、スリッパが揃っていない場合揃える。
 - 一人一人が必ず揃えることが大前提で、揃っていない場合、その時の担当がそろえる。
- 点検方法
 - 1F、2Fでその日の担当学年を決める。
 - 担当学年は点検者を決める。
 - 点検者は表の時間に点検に行く。揃ってなかったら揃える。
 - 点検終了後 名前を記入する。

※環境委員会は活動を計画することを主として、全校の取組にする。
- 評価
 - スリッパの様子、点検表を校内巡視等で、見て回り、その日の担当学年やスリッパを揃えた児童を放送するなどの肯定的評価を継続していく。各学級でも評価を行う。
 - 事前と事後のアンケートを行い、変容が分かるようにグラフにして掲示する。
- その他
 - 児童の取組の様子を生徒指導通信で保護者に配付し、家庭での協力をお願いしていく。

課題 そろっていない実態（気付く）



目指す姿 そろっている姿（描く）



点検表

方法

いつもきれいにそろえてくれてありがとうございます。
児童会 環境委員会

		9:30	10:35	11:25	14:00	14:50	16:00
11月16日 火	担当						
	年						
11月17日 水	担当						
	年						

生徒指導通信抜粋

トイレのスリッパをそろえることができました。



取組の成果と課題

成果

- 児童が主体となり活動を行うことで、自分たちの学校の課題を改善し、よりよくしていこうとする実践意欲と態度が向上してきた。
- 「トイレスリッパそろえ大作戦」を通して、次に使う人のことを考えるという思いやりの心を育てること、生活しやすい学校になること等、児童にスリッパを揃える理由が浸透した結果、「スリッパを揃えることができた。」という肯定的評価が97.7%になった。
- 他の委員会活動でも、主体的に活動する姿が増えてきた。

課題

- 新型コロナウイルス感染症対策を行う中での児童会活動になっていることもあり、活動を制限せざるを得ないところもある。全校に直接伝える等の効果が高いと思われる方法ができなかった。このような現状の中で、より効果がある方法を考えていく。また、児童の主体的な活動を行うためには、児童の思いを、よりしっかりと聴くことが重要だと考える。チーム担任制等を利用しながら、今後も児童の思いや意見を積極的に「聴く」取組の充実を図っていく。